

陳 情 文 書 表

受 理 番 号	陳 情 第 2 6 号
件 名	0.4%の年金引き下げをもとに戻すとともに，消費者物価指数による年金引き下げを行わないことを求める意見書の提出について
要 旨	<p>4月から年金が0.4%引き下げられました。この10年以上，たびたびの引き下げはあっても年金が引き上げられたことはありません。この間，年金課税は強められ，医療・介護保険料は上がり続けています。</p> <p>年金を0.4%引き下げた根拠は，消費者物価指数の低下です。しかし，指数を低下させたものは，高校授業料無料化，薄型テレビ，IT機器など工業製品の低下です。これらが，高齢者の生活を反映するものでないことは明らかです。高齢者の生活は，食料など生活必需品，高騰する税と保険料，健康を維持するための医療費などです。</p> <p>このことは，2010年参議院選挙にも反映し，自由民主党マニフェストには，「高齢者の生活に合わせた新たな基準による物価スライドを創設する」とあります。根拠の薄い年金引き下げは，年金生活者を苦しめるだけでなく，地域社会の活力をも失わせます。</p> <p>よって，下記の事項についての意見書を採択し，各関係機関に送付することをお願いする次第です。</p> <p style="text-align: center;">記</p> <p>1 年金引き下げ 0.4%をもとに戻すとともに，消費者物価指数低下による年金引き下げをしないこと。</p>
付 託 年月日 委員会	平成 23 年 12 月 1 日 市民厚生常任委員会
受 理	平成 23 年 11 月 25 日 第 4 5 1 号